

市政だより

おおむら

財政事情説明書

大村市告示第41号

大村市の財政事情を6月と12月の年2回公表していますが、今回は61年度当初予算概要と60年度下半期の執行状況を次のとおり公表します。

昭和61年6月1日

大村市長職務代理者 大村市助役 中村 豊

- ◎本年度の重点目標
- ◎生活環境の整備
- ◎教育環境の整備
- ◎産業の振興
- ◎行財政健全化の推進
- ◎国・県事業の推進

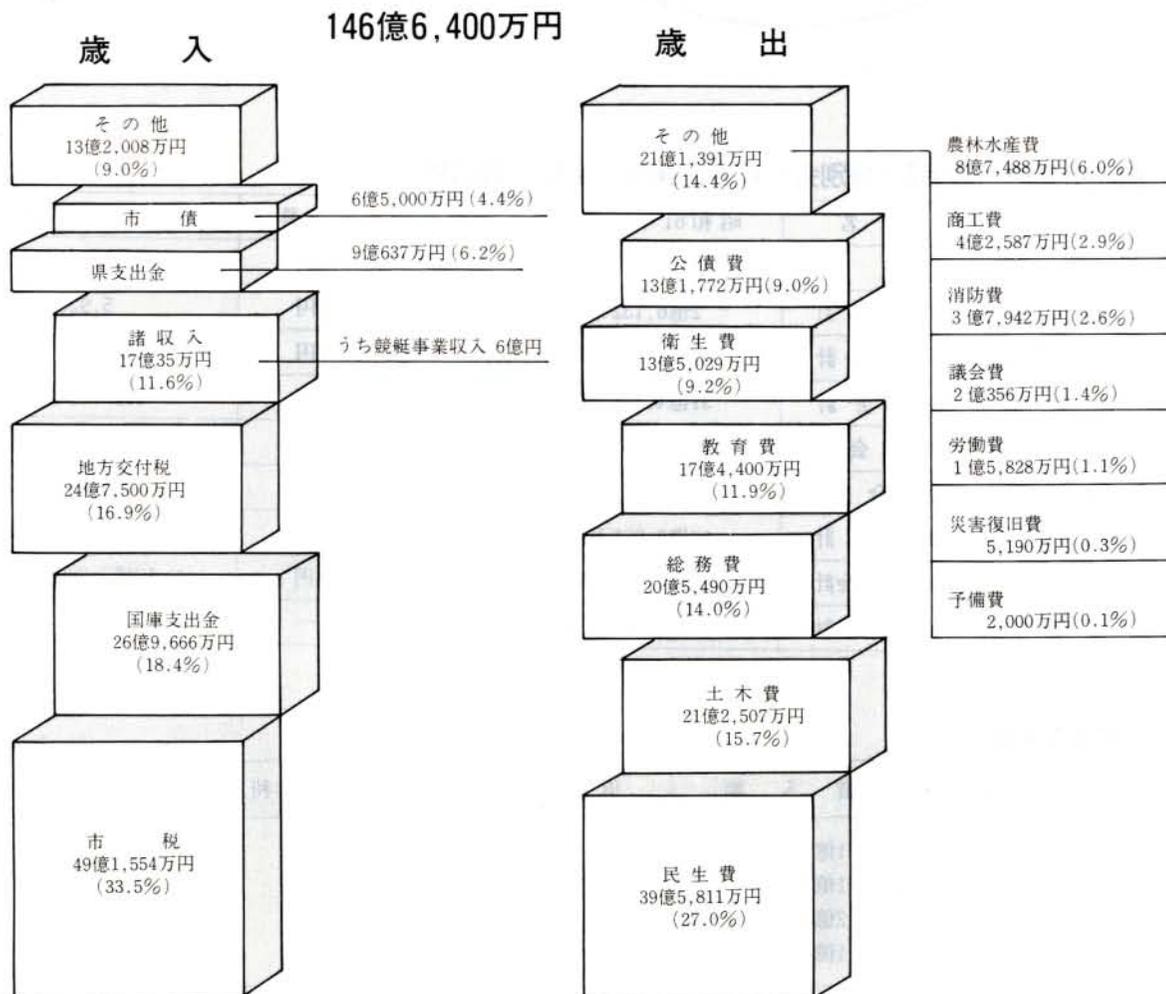
本年度の重点目標
 ◎生活環境の整備
 ◎教育環境の整備
 ◎産業の振興
 ◎行財政健全化の推進
 ◎国・県事業の推進

ご承知のように、本市財政は競争事業の不振による大巾な減収等により、かつてない危機を迎えておりますが、従来にもまして財源の重点的配分と経常経費の節減合理化に徹するとともに財政構造の体質改善を進める必要があります。

このような情勢の中で本市といたしましても今後内外の情勢を見極めつつ、財政の健全化、弾力化を図り、節度ある財政運営を基本として、生活環境の整備をはじめ諸施策の積極的な推進を図ってまいりたいと思っております。

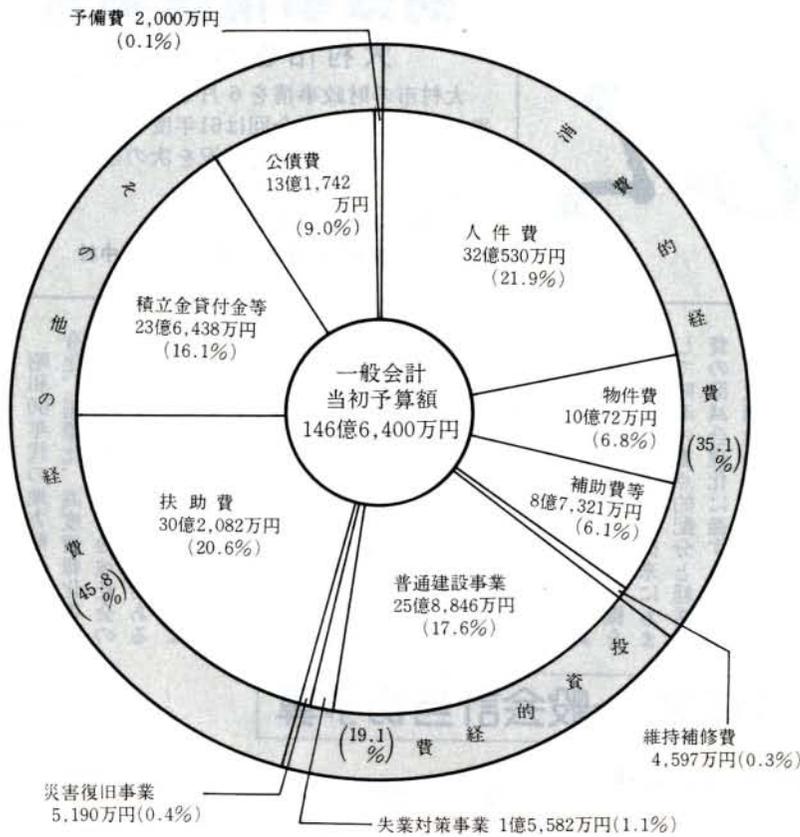
昭和60年代の地方財政は、高令化、国際化、高度情報化等社会情勢の変貌に伴う地域社会の構造的な変化の下で、活力ある地域社会の実現のためにどのように対応していくか幾多の難問をかかえております。

昭和61年度 一般会計当初予算



昭和61年度一般会計当初予算 性質別分析表

昭和61年度一般会計当初予算歳出の部を性質的に分析しますと左図のようになります。



昭和61年度一般会計・特別会計及び企業会計当初予算比較

会計名	昭和61年度予算	昭和60年度予算	増減
一般会計	146億6,400万円	150億8,370万円	△ 4億1,970万円
簡易水道事業会計	2億6,132万円	2億 207万円	5,925万円
国民健康保険事業会計	37億4,130万円	35億 902万円	2億3,228万円
老人保健事業会計	31億4,788万円	25億1,013万円	6億3,775万円
公共下水道事業会計	25億 359万円	25億5,589万円	△ 5,230万円
水道事業会計	11億4,574万円	10億5,659万円	8,915万円
病院事業会計	32億2,383万円	31億 751万円	1億1,632万円
モーターボート競走事業会計	238億 476万円	251億3,866万円	△ 13億3,390万円
工業用水道事業会計	5億3,830万円	—	皆増

一時借入金調べ

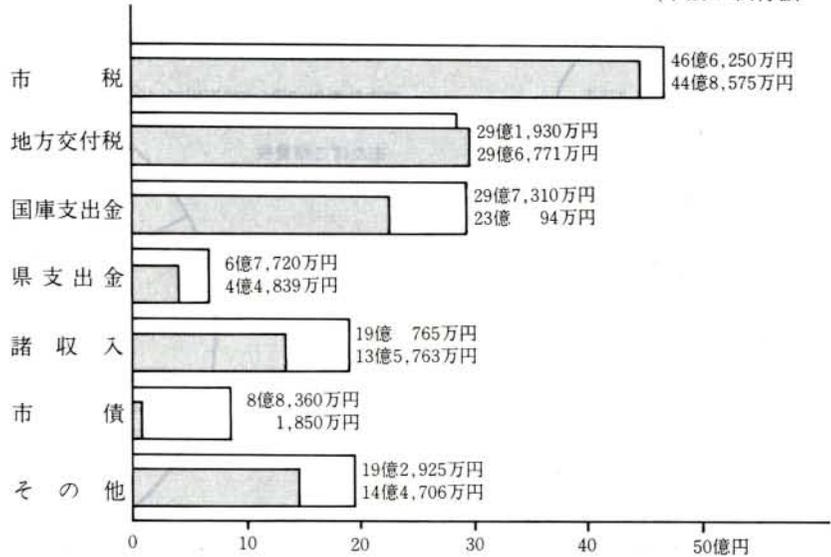
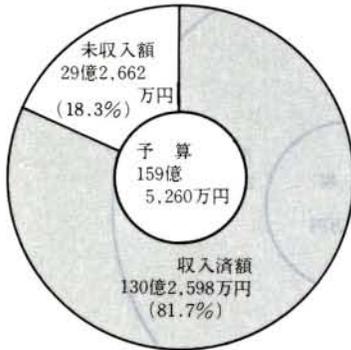
61. 3. 31現在

借入年月日	借入額	借入先	利率(年利)	償還年月日
60. 10. 4	1億 5千万円	大村市モーターボート競走事業	2.00%	61. 5. 26
60. 11. 15	1億円			
61. 2. 20	2億円			
61. 3. 28	1億円			

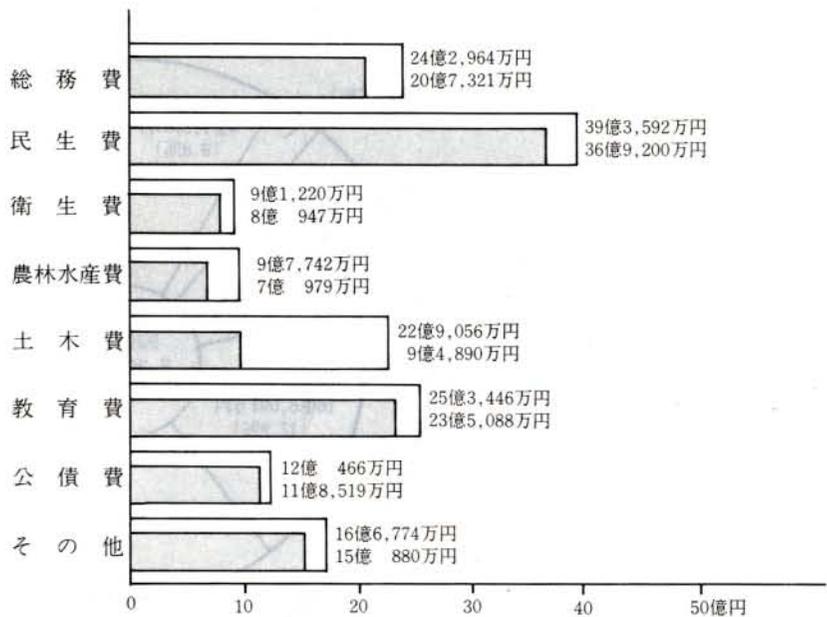
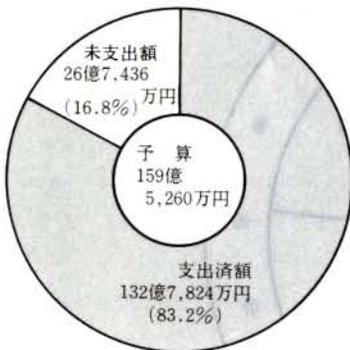
昭和60年度一般会計予算と執行状況(昭和61年3月31日現在)

(上段：予算額
下段：執行額)

歳入



歳出



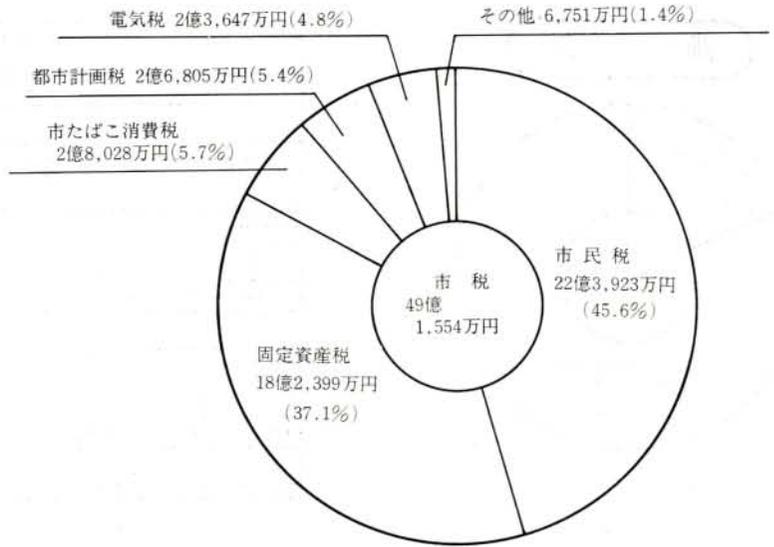
昭和60年度特別会計予算執行状況 (昭和61年3月31日現在)

会計名	予算額	収入済額	執行率 %	支出済額	執行率 %
簡易水道事業	2億8,404万円	3,965万円	14.0	1億6,481万円	58.0
国民健康保険事業	37億7,354万円	27億9,134万円	74.0	31億7,341万円	84.1
老人保健事業	30億1,449万円	25億6万円	82.9	27億7,448万円	92.0
下水道事業	26億1,963万円	6億2,053万円	23.7	20億9,874万円	80.1

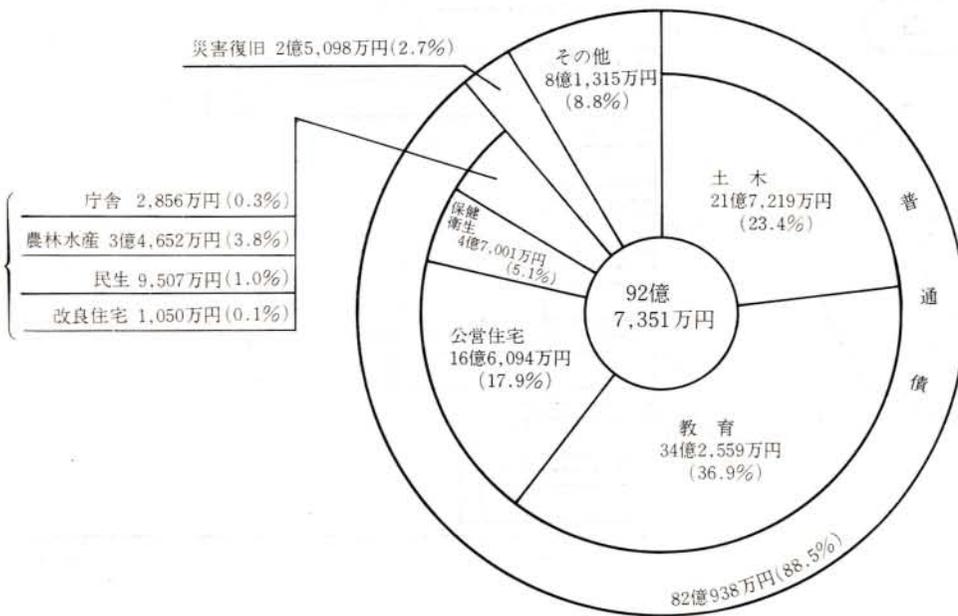
市民税負担状況
(昭和61年度当初予算)



市税の内訳 (昭和61年度当初予算)



市債の状況 (昭和60年度末現在高)



市有財産総括表 (昭和61年3月31日現在)

種別	数量	価格	種別	数量	価格
施設敷地	1,854,808m ²	97億5,496万円	出資金	25件	15億40万円
建物	234,124m ²	173億3,642万円	財産権	2,414m ²	4万円
工作物	136件	10億8,407万円	車輛	122台	2,576万円
山林その他	6,124,424m ²	34億748万円			
基金・積立金	10件	25億8,503万円	合計		356億9,416万円

業務状況等説明書

大村市告示第 42 号

地方公営企業法第40条の2第1項並びに大村市財政事情説明書の作成および公表に関する条例第2条および第3条の定めるところにより昭和60年度後期分（昭和60年10月1日～61年3月31日）の市立病院事業、市モーターボート競走事業、市水道事業の動向および財政事情を次のとおり公表します。



(1) 業務の概要

今日の医療に対する需要と関心は、高齢化の進行や医学の進歩による高度化・専門化に伴い、増大かつ多様化する傾向にあります。こうした中で、医療水準の向上と充実を図るため、心電図患者監視装置外25機種を起債により購入するなど、市民により良い医療サービスを提供できるよう努めています。又、業務の効率化を図るため、専門委員

別表1 入院・外来患者数調

区分 月別	入院患者延人員	外来患者延人員
10月	8,187	10,631
11月	7,511	9,531
12月	7,878	10,433
1月	7,774	9,252
2月	7,331	9,110
3月	8,264	10,427
計	46,945	59,384
一日平均	257.9	409.5
前年度比	103.1	102.7

差引	資本的収入	資本的支出	差引	収益的収入	収益的支出
△ 8,076,000円	9,840,600円	2,414,266円	6,301,500円	30億8,096,000円	30億7,114,000円

(2) 経理の状況

会を設置し、医事会計の電算化を新年度より実施する運びとなりました。

昭和60年度の経理の状況は別表2のとおりですが、その概要は次のとおりです。

別表2 経理の状況

昭和61年3月31日現在 (単位千円)

区 分	予 算 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率 %
収 益 的 収 入			
第1款 病院事業収益	3,012,602	3,087,114	102.5
第1項 医業収益	2,788,727	2,859,102	102.5
第2項 医業外収益	220,873	220,714	99.9
第3項 特別利益	3,002	7,298	243.1
収 益 的 支 出			
第1款 病院事業費用	3,134,959	3,080,961	98.3
第1項 医業費用	2,945,702	2,894,016	98.3
第2項 医業外費用	186,255	181,570	97.5
第3項 特別損失	3,002	5,375	179.1
資 本 的 収 入			
第1款 資本的収入	84,757	84,066	99.2
第1項 企業債	35,400	34,700	98.0
第2項 他会計負担金	49,356	49,356	100.0
第3項 固定資産売却代金	1	10	1000.0
資 本 的 支 出			
第1款 資本的支出	92,762	92,142	99.3
第1項 建設改良費	35,401	34,781	98.3
第2項 企業債償還金	57,361	57,361	100.0

別表3 企業債の状況

昭和三十九年三月三十一日現在 (単位千円)

	発行額	償還額	残高	備考
建設改良費	29,000	16,031	12,969	大蔵省
改築事業	2,302,800	103,138	2,199,662	大蔵省
医療器械整備	122,700	16,081	106,619	大蔵省
計	2,454,500	135,250	2,319,250	

(3) 企業債および一時借入金並びに長期借入金現在高
 企業債および一時借入金並びに長期借入金の状況は、別表3、4、5のとおりです。又支払利息については、次のとおりです。
 企業債利息 1億4703万8000円、長期借入金利息 1100万円、一時借入金利息 2353万2000円です。

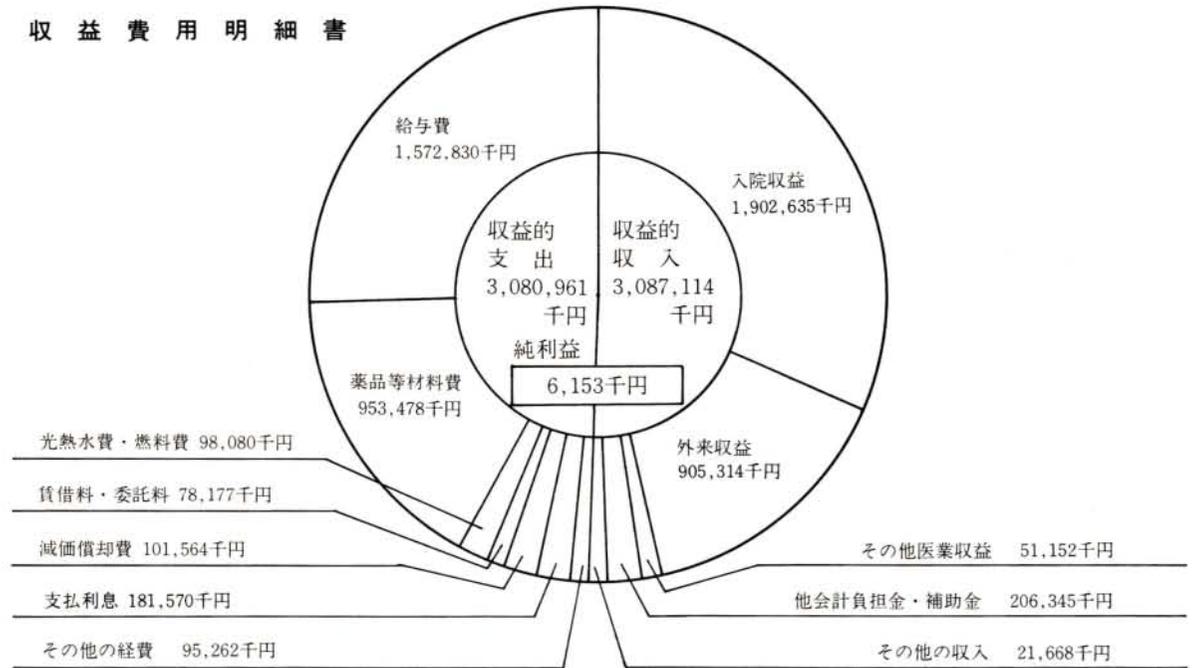
別表4 一時借入金明細書 (単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	本年度末残高	備考
520,000	520,000	450,000	借入先 親和銀行 350,000 十八銀行 100,000
			借入限度額 700,000

別表5 長期借入金明細書 (単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	本年度末残高	備考
550,000	550,000	550,000	借入先 大村市モーターボート競走事業

収益費用明細書



(1) 業務の概要

売上、入場者の状況は昭和54年度をピークに急激な減少傾向にありましたが、昭和60年度は減少傾向が鈍化している状況にあります。

昭和60年度はファン層の拡大をはかるためファンクラブ会員の第3次募集、街頭キャンペーンの実施、サマータイムレース、他場特別発売、オール女子レース、場内での各種イベントを数多く実施した。またスタンド1階のサッシを改修し、冷暖房の効率化をはかり、ファンサービスを努めた。売上額は1日平均1億4,103万2,700円で前年度に比べ0.7%減少し、入場者は1日平均3,768人で5.7%減となっています。

今後も更に催事等積極的に行い、ファン層の拡大に努めたいと考えております。

昭和60年度後半の回別売上げは別表(1)のとおりです。

(2) 経理の状況

経理の状況は別表(2)のとおりですがその概要は次のとおりです。
 なお一般会計へは7億5,000万円を繰出しています。

別表(1) 売 上 げ 調 べ

(単位千円)

月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高
7 回 (10月度)	1,596,275	9 回 (12月度)	1,902,384	11回 (2月度)	2,642,243
8 回 (11月度)	1,823,663	10回 (1月度)	2,535,045	12回 (3月度)	2,241,770

差 収 益 的 支 出 引 入 2 2 6 1 億 3 2 4 7 万 5 0 0 0 円

別表(2) 経 理 の 状 況

昭和61年3月31日 (単位千円)

区 分	子 算 額						子 算 行 額	子 算 行 率 %	
	当初子算額	補正子算額	子備費 充当額	費 用 額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定による 繰越額	合 計			
収 益 的 支 出	第1款 モーターボート競走事業収益	25,138,660	0	0	0	1,085,884	26,224,544	26,132,475	99.64
	第1項 営 業 収 益	24,993,354	0	0	0	1,085,884	26,079,238	25,944,592	99.48
	第2項 営 業 外 収 益	145,305	0	0	0	0	145,305	187,883	129.30
	第3項 特 別 利 益	1	0	0	0	0	1	0	0
収 益 的 支 出	第1款 モーターボート競走事業費用	24,462,846	0	0	0	683,466	25,146,312	24,631,001	97.95
	第1項 営 業 費 用	24,262,842	0	200,000	0	683,466	25,146,308	24,631,001	97.95
	第2項 営 業 外 費 用	3	0	0	0	0	3	0	0
	第3項 特 別 損 失	1	0	0	0	0	1	0	0
第4項 子 備 費	200,000	0	△ 200,000	0	0	0	0	0	
資 本 的 支 出	第1款 資 本 的 支 出	902,232	75,999	0	0	0	978,231	874,670	89.41
	第1項 建 設 改 良 費	52,231	0	0	0	0	52,231	48,670	93.18
資 本 的 支 出	第2項 投 資	1	75,999	0	0	0	76,000	76,000	100.00
	第3項 貸 付 金	750,000	0	0	0	0	750,000	750,000	100.00
	第4項 子 備 費	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0
資 本 的 支 出	第1款 資 本 的 支 出	1	0	0	0	0	1	0	0
	第1項 固 定 資 産 売 却 代 金	1	0	0	0	0	1	0	0

差 資 本 的 支 出 引 入 △ 8 億 7 4 6 7 万 0 円

合 計 2 2 7 8 , 5 0 2 千 円

企業債利息 4 0 , 4 1 7 千 円

企業債元金償還金 2 3 8 , 0 8 5 千 円

昭和60年度中に支払った企業債の元利償還金は次のとおりで、一時借入金明細書は別表3、企業債借入明細は別表4のとおりです。

(3) 企業債の概要

留保資金で補てんしております。右記の資本的収入の不足額151,082千円は、損益勘定

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円



(1) 業務の概要

昭和60年度は企業債を財源として、第8回拡張事業の葛城貯水池改良工事、葛城承水路改良工事、鬼橋水源築造工事、電気計装設備工事が完成し、1日2、900m³の水源を開発しました。又、池田貯水池拡張工事に着手いたしました。一方、一般事業におきましては市内配管台帳図の製作にとりかかること、70kmの漏水調査を実施し、漏水防止に努めました。又、下水道工事に伴う配水管の移設工事を行いました。

(2) 経理の状況

昭和60年度の経理の概要は次のとおりで、執行状況は別表1のとおりです。

収 益 的 支 出 1,029,665千円

収 益 的 支 出 42,053千円

収 益 的 支 出 505,496千円

収 益 的 支 出 656,578千円

収 益 的 支 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

資本的収入 505,496千円

資本的支出 656,578千円

差 引 出 1,029,665千円

差 引 出 42,053千円

差 引 出 505,496千円

差 引 出 656,578千円

差 引 出 △ 151,082千円

別表1 経理の状況

昭和61年3月31日現在 (単位千円)

区 分	子 算 額				子算執行額	子算執行率 (%)	
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	合 計			
収益的収入	第1款 水道事業収益	1,056,588	4,540	0	1,061,128	1,029,665	97.03
	第1項 営業収益	1,053,884	990	0	1,054,874	1,019,280	96.63
	第2項 営業外収益	2,702	0	0	2,702	4,031	149.20
	第3項 特別利益	2	3,550	0	3,552	6,354	178.87
収益的支出	第1款 水道事業費用	1,005,077	23,476	0	1,028,553	987,612	96.02
	第1項 営業費用	757,002	19,876	0	776,878	744,621	95.85
	第2項 営業外費用	246,660	0	0	246,660	238,944	96.87
	第3項 特別損失	415	3,600	0	4,015	4,047	100.79
第4項 予備費	1,000	0	0	1,000	0	0	
資本的収入	第1款 資本的収入	503,764	0	0	503,764	505,496	100.34
	第1項 企業債	477,500	0	0	477,500	477,500	100.00
	第2項 他会計負担金	1,260	0	0	1,260	1,925	152.80
	第3項 出資金	25,000	0	0	25,000	25,000	100.00
	第4項 他会計補助金	1	0	0	1	0	0
	第5項 工事負担金	1	0	0	1	1,071	107,100.00
	第6項 固定資産売却代金	1	0	0	1	0	0
第7項 寄付金	1	0	0	1	0	0	
資本的支出	第1款 資本的支出	664,760	10,510	0	675,270	656,578	97.23
	第1項 建設改良費	623,343	10,510	0	633,853	616,161	97.21
	第2項 企業債償還金	40,417	0	0	40,417	40,417	100.00
第3項 予備費	1,000	0	0	1,000	0	0	

別表2 業務の状況

事 項	昭和60年度(A)	昭和59年度(B)	比 較	
			増減(A)-(B)	比率(A)/(B)
1. 年度末給水人口	63,273人	62,436人	837人	101.34%
2. 年度末給水戸数	20,307戸	19,643戸	664戸	103.38%
3. 年間総配水量	7,240,969m ³	7,227,702m ³	13,267m ³	100.18%
4. 一日最大配水量	26,249m ³	25,927m ³	322m ³	101.24%
5. 一日平均配水量	19,838m ³	19,802m ³	36m ³	100.18%
6. 一人一日平均配水量	314ℓ	317ℓ	3ℓ	99.05%
7. 年間有収水量	5,860,116m ³	5,841,429m ³	18,687m ³	100.32%
8. 一日平均有収水量	16,055m ³	16,004m ³	51m ³	100.32%
9. 一人一日平均有収水量	254ℓ	256ℓ	2ℓ	99.21%
10. 有収率 $\frac{(7)}{(3)} \times 100$	80.93%	80.82%	0.11%	-
11. 給水普及率 $\frac{(給水人口)}{(行政人口)} \times 100$	91.20%	91.10%	0.10%	-

別表4 企業債の状況 (借入先)

別表3 一時借入金明細書

(単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	61年3月末残高	備 考
0	100,000	0	借入先 大村市競艇事業部 親和銀行

(昭和61年3月31日現在)

